

第91回 全国高等学校野球選手権大会

平成21年8月8日(土)~24日(月)
阪神甲子園球場

2回戦 15日(土) (審) 長谷川、中井、鈴木、金岡

チー ム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
明 桜	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
日本航空石川	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1x	3

三塁打：小番2(明)、泉(航)
二塁打：大塚、大門、加賀(明)

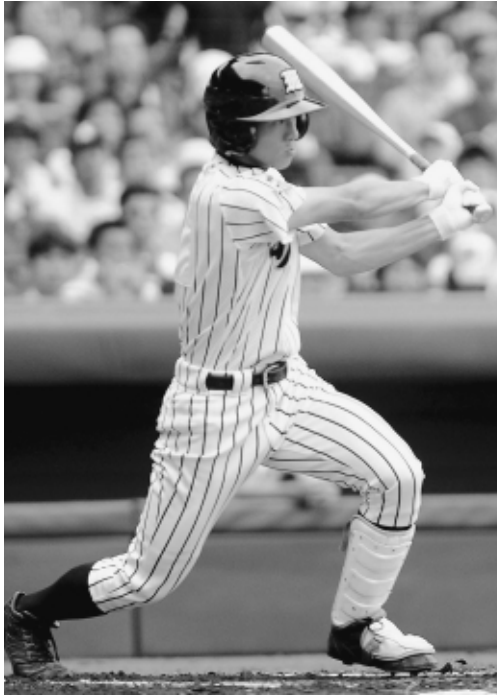
	打数	安打	犠打	四死	三振	盗塁	残塁	失策	併殺
明 桜	45	10	2	2	8	0	11	4	0
日本航空石川	39	9	4	1	11	1	8	2	1

・バッテリー
明 桜：二木(11%) — 加賀 日本航空石川：栗本(7)、浜田(12%)、中田(31%) — 岡本

【明 桜】	打数	安打	打点	三振	四死	【日本航空石川】	打数	安打	打点	三振	四死
⑨ 本 間	6	1	0	3	0	⑧ 泉	4	1	1	2	1
② 加 賀	6	1	0	1	0	④ 大 西	4	1	0	1	0
⑧ 塚 番	5	2	0	0	0	⑤ 池 田	5	1	0	1	0
③ 小 番	6	2	2	1	0	⑨ 田 中	5	0	0	2	0
① 二 木	5	0	0	1	0	⑦ 北 寺	5	3	0	0	0
⑥ 秋 本	3	0	0	0	2	⑥ 福 井	4	0	0	2	0
④ 高 橋	4	0	0	1	0	③ 荒 川	5	2	0	1	0
H4 菅 原	0	0	0	0	0	R 清 水	—	—	—	—	—
⑦ 長 谷	4	1	0	1	0	② 岡 本	3	1	0	0	0
H7 須 川	1	1	0	0	0	① 栗 本	2	0	0	1	0
⑤ 大 門	5	2	0	0	0	H 胡	1	0	0	1	0
	45	10	2	8	2	1 浜 田	—	—	—	—	—
						1 中 田	1	0	0	0	0
						H 石 井	—	—	—	—	—
							39	9	1	11	1



【明桜—日本航空石川】 まさかのサヨナラ負けに、悔しそうにボールを握り締める明桜・二木＝甲子園球場
(秋田さきがけ 8月16日付)



【明桜-日本航空石川】 1回表1死二、三塁、明桜・小番が左中間へ先制の三塁打を放つ=甲子園球場

(秋田さきがけ 8月16日付)



【明桜-日本航空石川】 1回表1死二、三塁、明桜・小番の左中間三塁打で三走に続き、二走大塚も生還する=甲子園球場

(秋田さきがけ 8月16日付)

鉄壁の守備…

無情の幕切れ

「守り勝つ野球」を身上とした試合で、選手の間はこわばっていた。延長十二回、秋田大会を無失点で勝ち上がった明桜だが、一つのミスが命取りになる大事な場面、大塚がレシヤが鉄壁を誇る守備を崩している。

「守りからリズムをつかんでいきたい」と意図を述べていた田中監督。水物である打撃も守備も重視した捕撃方針をとってきた。それが結果的に結果の甲子園切符を大塚入りしてからもさらに勝ち差をかけるべく、練習時間の半分をフックに費やしてきた。そして、選手一人一人が目を凝らした。刀の状態で臨むはずだった。

だが、一点を奪った

焦点

「早くアウトカウントをとりたい」。捕手の加賀屋太主将(三年)の焦りも窺っていた。二木健(同)の1ボール球目を受けたとき、三塁のリードが大きくなっていった。三塁に投

重圧から崩れる

したが一息いで、上半身だけで投げた。球は三塁手の頭を擦ってアウト前へ。左翼手もファンブルしている間に、三走が生還し無情な幕切れとなった。整列後、加賀屋主将は木に「ごめん」と一言「木はいい」と加賀屋主将の選手を回して、田中監督は「緊張して、結果と言葉が合致すると思いついてアウトを取った」攻撃的守備「重責はナイン(投手)がやった」とたなをみる。加賀屋主将は涙を流しながら、「自分たちのような選手は、後援はまじい場所に戻ってほしい」と身をこぼした。「1」のプレートの大切さを伝えた。

(秋田さきがけ 8月16日付)